

菱野連区 市長と地域との懇談会

日 時：令和6年6月8日（土）
午後7時から午後8時30分まで
場 所：幡山公民館
参加者：7名

【内 容】

市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- ・令和5年9月から有料化をスタートしたが、尾張旭市や長久手市と足並みをそろえ、市民の皆さんのごみ減量への取組状況を検証したいとの思いがあり、従来のごみ袋の料金は据え置きのままにし、ごみの処理費用を賄っている。
- ・分別は進んでおり、燃えるゴミの総量が1割減少した。しかし、ごみ全体の総量では前年から3%程の減少と大きく減っていない。
- ・プラスチックごみ、ミックスペーパーの分別も進んできているが、まだ十分とはいえない。引き続き分別にご協力をいただきたい。
- ・燃えるごみの中で一番多いのは調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品であり、市としてフードロスを少なくしていきたい。
- ・資源リサイクルセンターの混雑緩和のため、拠点を増やして対応する予定。
- ・プラスチックごみについても、効率よく回収できる方法を検討し、なるべく早く週1回の回収を実現したい。

地域の課題：地域が抱える課題について

（ごみの削減について）

- ・古い回収袋のままごみを出している人がいる。その中に、生ごみが入っているとカラスがつつき、これから夏に向けて衛生的ではない。
- ・朝ではなく、夜にごみを出している人がいる。住民が協力してマナーを守ることが大切。
- ・外国籍の人にも交流して、マナーについて知ってもらうことが大切。
- ・川が人の目が行き届くよう整備するとごみを捨てる人が減ると同様、ごみ出しマナーにも地域の目が必要ではないか。
- ・瀬戸市はごみの分別に取り組んだのが近隣に比べて遅かったため、成果が表れるのはもう少し時間がかかると思う。
- ・住民に対してごみ減量を訴えていくためには、数年間にわたるデータを提示する必要があるのではないかと。分別に取り組んだ推移がわかる資料があると取り組みやすい。

・プラスチックごみは、しっかり分別されていないと、処理に多くの費用がかかると聞いている。しっかり周知をしてほしい。

・外国製のプラスチック製品だと「プラ」表記がされていないため、リサイクルセンターに持って行っても回収してもらえず、燃えるゴミになってしまう。分別を促進するために、柔軟に対応してもらいたい。

・生ごみの減量は個人ではなかなか取組みにくい。地域でコンポストを設置するなど、地域で取り組める方法を考えてはどうか。

・ごみをカラスに荒らされないため、カラスの嫌いな黄色や透明の糸でネットを作成してはどうか。

・住民が出した空き缶を持っていく人がいるため、市から警察へ連絡して、対応してもらえるよう働きかけてほしい。

(獣害対策について)

・幡山中学校や特別支援学校、名糖産業周辺にイノシシが出る。

・今後空き家が増えてくると、イタチ等が住み着いてしまう。

(町内会の加入促進について)

・コロナ禍で町内会に加入しない人が増えている。コロナが落ち着いた今、転入してくる若い世代に対して、市からも加入促進の働きかけを行ってほしい。

・災害時を考えると、新しく転入してくる人との結びつきが大切である。

・アパートのオーナーにも、転入者に対して町内会への加入をPRしてもらえるとよい。

・災害時に活用するため、住民台帳を整備しているが、町内会に加入しない人の情報は把握できない。災害時を想定し、町内会に加入することは大切である。

・高齢者が増えてきて、町内会の役員をやれない人が増えている。

(幡山西小学校体育館のトイレについて)

・幡山西小学校体育館のトイレが臭く、子どもたちが利用できない。

・避難所にもなっているため、改修等が必要であれば対応してほしい。

(インフラ整備について)

・若い世代の転入や企業を誘致するためにも、インフラ整備は必要。

・瀬戸市は全体的にインフラ整備に取り掛かるのが遅い。昔から道路が狭いままである。

・転入してくる人のために、通勤で使えるよう、名古屋市や豊田市へつながる広い道路があるとよい。

(補助金について)

・企業向けの省エネ設備設置に活用できる補助金があるとよい。

・市民への補助金についても、申請しやすい方法を検討してほしい。

